

## Jパワーへの株主提案、米助言会社2社が賛成

2022/6/15 18:14 | 日本経済新聞 電子版



Jパワーは発電能力の4割を石炭火力発電が占める=共同

仏運用大手アムンディなどが[Jパワー](#)に温暖化対策を強めるよう求めた株主提案をめぐり、米議決権行使助言会社のインスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ(ISS)とグラスルイスは15日までに「賛成」を推奨した。グラスルイスは「提案が求めるさらなる情報開示は株主の利益にかなっている」とした。

アムンディなどが提案した3項目のうちISSは全ての賛成を推奨し、グラスルイスは経営陣の報酬方針の開示を定める定款変更を除く2項目の賛成を勧めた。ISSは「老朽化した石炭火力発電所の廃止に向けた具体的なプランがない」と指摘した。

提案は温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」に沿った脱炭素計画を策定し、設備投資が脱炭素計画に整合しているか定期的に評価・開示するよう求めている。Jパワーは28日に定時株主総会を開き、株主提案を議決する。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.